

研究課題：ミダゾラム持続静注が有効な難治性てんかん重積状態の小児患者における発作再燃リスクについて

1. 研究の目的

難治性てんかん重積状態と診断され、ミダゾラム持続静注が有効だった患者におけるミダゾラム持続静注終了後の発作再燃リスクについて調査します。

2. 研究の方法

2017/1/1-2023/12/31 までに

難治性てんかん重積状態と診断され、当センターのPICUに入院となり、難治性てんかん重積状態に対してミダゾラム持続静注が有効だった患者様が対象となります。患者様のミダゾラム持続静注終了後の発作再燃の有無について調査し、発作再燃に関連している因子について情報をまとめます。

3. 研究期間

倫理委員会承認後～2030/3/31 までの期間。

4. 研究に用いる資料・情報の種類

診療録を元に、生年月日、性別、年齢、既往歴、家族歴、発症時年齢、身体所見、画像検査(頭部CT、頭部MRI、IMP-SPECT、IMZ-SPECT)、生理検査(脳波、神経伝導速度、超音波)、発症時のSE分類、発症から治療までの期間、治療内容、治療効果、有害事象、予後について情報を調べまとめます。

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

この研究で得られた結果は、医学雑誌に公表されることがありますが、患者様の個人情報は一切分からないようにしますので、プライバシーは守られます。また、この研究で得られたデータが本研究の目的以外に使用されることはありません。

6. 研究組織

研究機関：地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立小児医療センター

実施責任者：神経科 科長 菊池健二郎

実施分担者：神経科 副病院長 浜野晋一郎

保健発達部 医長 小一原玲子

神経科 医長 松浦隆樹

神経科 医長 平田佑子

神経科 医員 竹田里可子

神経科 医員 竹内博一

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、2024年10月31日まで下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

地方独立行政法人埼玉県立病院機構
埼玉県立小児医療センター
医事担当（代表 048-601-2200）